

平成28年度第2回緑区区民対話会 議事要旨

<テーマ 「安全・安心なまちづくりについて」>

1 防災・防犯に係る施策について

- 「熊本地震」に関して質問します。①災害時の医療体制、災害拠点病院はどのように機能したのか。②重軽傷者数の内訳・状況を教えてください。③おゆみ野地区（44地区）での災害拠点病院あるいは補完する制度はありますか。④災害発災時の（医療機関への）交通アクセスはどの様になりますか。⑤おゆみ野地区（44地区）内の多数のクリニックを（災害時に）機能集約・組織化するなどの想定はしていますか。

<区役所の発言>

手元に資料がないため「熊本地震」の際の医療体制の回答は後日になります。緑区の医療（初期）体制として緑保健福祉センターが対応いたします。入院施設はありませんが、軽度から重度（重症）の判断（トリアージ）を行い、必要に応じ医療機関への連携を実施しております。医療機関への交通アクセスについては、消防で医療機関へのアプローチ（アクセス）の想定は行っております。クリニックの組織化等については千葉市医師会との連携となりますが、詳細は確認してから回答します。

- 口頭での説明部分についても資料に反映して欲しい。避難所運営の初期段階に学校の先生の協力を求めることを検討していますか。

<区役所の発言>

平日の日中に災害が発災した際の避難所開設については、学校の先生方に頼らざるを得ないが、避難所を継続的に運営していく中で順次、地元住民、市職員に引継いで行くことを想定しています。

- 自治会内で災害時の対応を検討したところ、課題として2点ありました。1点目として、自治会として独自に備蓄品を持つべきですか。2点目として、避難所経由で物資配布の際に自治会加入・非加入者をどう切り分けたらよいですか。

<区役所の発言>

1点目、備蓄品は最近では1週間分持つとベストとも言われてきております。自治会内での備蓄としては食料に限らず「携帯トイレ」なども有効ではないでしょうか。

2点目、物資配布については、自治会加入・非加入、帰宅困難者等含めて差別なく一律に配布をお願いします。

- おゆみ野の下水道はブースター等でなく各家庭の排水力によると思うので、災害時に風呂水等で流そうとしても機能しないのではありませんか。実際に検証をしていますか。意見として、おゆみ野地区の特徴として、京葉コンビナートなどに勤務をしている人が各自治会にいるため、勤務先で自衛消防隊を編成するなど高度な防災スキルを持つ人がいると思います。そういう人向けに消防署と連携した高レベルの訓練を開催してはどうですか。

<区役所の発言>

下水道についての検証は実施しておりません。生活する中で排泄を我慢することは出来ませんので、排出物を流す等の処理は必要であると思います。なお、消防署と連携した訓練の実施については、今後、消防署と検討を進めていきたいと考えております。

2 見守り活動に係る施策について

- 地域見守り活動支援事業対象団体について“自治会でなくては不可”等の制約はありますか。

<区役所の発言>

地域見守り活動支援のために、5人以上で組織される団体であれば問題ありません。ただし“何をやるか”等の簡単な規約は必要となります。

- 「災害時要支援者名簿」と「見守り活動対象者名簿」が別々となっており、うまく連携されていない。今後の施策として名簿の連携は考えていますか。また、見守り活動対象者として身障者も対象となっているのですか。

<区役所の発言>

見守り活動の中で、「災害時要支援者名簿」を使うことは個人情報保護の為にできません。ただし、いくつかの自治会でアンケート調査により対象者把握を行っているところもあると伺っております。「災害時要支援者名簿」の中の単身者・障害者等の中でも普段からの見守りを希望していない方もいるため、一律に名簿を渡すことはできないが、本人の希望を取ることで連携できると思います。

- 災害時にお手伝いが必要な方は、通常時でも基本的に見守りが必要な方だと思います。災害時の名簿提出の際に「通常時の見守りも必要ですか。」と聞くことに

ついて検討して欲しい。

<区役所の発言>

貴重なご意見ありがとうございました。

- 見守り活動について、民生委員・社会福祉協議会・自治会、3者の役割が分からない。どこが中心となるべきなのか。それぞれのやり方がわからない点が多い。

<区役所の発言>

どこが中心となるかについては、地域特性に応じて変わってくると思います。例えば、古い団地などでは隣近所同士で十分な見守活動を行っているところもあります。区社協では、地域ソーシャルワーカーが活動支援、組織作りをサポートしております。区社協に相談に来てください。

- 緊急通報システムについて確認をしたい。登録した連絡者が緊急連絡を受けても即時対応できない場合もあると思うのですが、そのような場合はどうなりますか。

<区役所の発言>

連絡者が不在の場合でも、ALSOKが直接対応しています。対象者宅を訪問し、場合によっては鍵を開け・病院等の手配をします。連絡者には、後日状況を伝えることとなっております。

- 首都直下型地震について確認をしたい。震源地が18か所あると言われている。オリンピック開催までの4年間は震災がないとの想定ですか。震災についての分析・予測まで行う専門家は県・市で在籍しているのか。

<区役所の発言>

東京オリンピック開催時に千葉市が一部会場となりますが、それまでに震災が発生しないという予測ではありません。また、専門的な職員は千葉県には在籍しているようですが、千葉市には専門的な職員はおりません。しかし、千葉市では専門家に委託し、地震想定・予測を研究中で年度内には予測結果が分ると思います。

- 災害発災時の(男性)日中不在に対応するために女性防災組織の考えはありますか。また、防災備蓄の件で簡易トイレを各避難所に増やしていく計画はありますか。

<区役所の発言>

今のところ、女性に特化した組織は考えておりませんが、避難所運営委員会の役員などになるべく女性の参加をお願いするなどをしています。防災備蓄に関しては市本部でも順次増やしていく考えを持っております。防災備蓄品につい

ては、実際の被災時には地域（区）により差があると想定されるため、被害が大きい地区に物資を配送することになると思います。

- 簡易トイレの件について確認したい。おゆみ野地区には11か所の避難所運営委員会があるが、全ての避難所で段ボールトイレ作成を何度も行っています。ただ、心配な点は汚物処理の場所がなくなった際に大百池へ流れている“せせらぎ”や“公園や林の中”へ捨てるのではないかと危惧している。汚物処理についてどのように考えているかお聞きしたい。

<区役所の発言>

汚物処理については、戸建てなどの場合は一時的にベランダや庭になると思います。汚物の回収については、一般廃棄物と一緒になると思います。環境部でも考えているところです。ただし、様々な問題発生も想定されるため本庁所管に投げかけているところです。

- おゆみ野地区には災害時緊急物資の運搬のため、ヘリポートが3か所設置されていると思います。ただし、住民周知がなされていない。また、ヘリ着陸地点にテントや車があると（その個所には）2度と飛来しない、とのこと。その点を含めて、住民周知をお願いしたい。

<区役所の発言>

「なつのみち公園」「はるのみち公園」「あきのみち公園」がヘリポートになっております。

- 高齢者のシニアリーダー体操に関する意見です。教育委員会学校施設課との協議の結果、10月1日から有吉小学校で始めました。年内に泉谷小学校、来年には、おゆみ野南小学校で開始予定である。おゆみ野全体では十数か所となる予定です。介護予防・高齢者引きこもり防止対策の活動として進捗している。そこでだが、公園遊具が老朽化し、外すということを公園事務所から言われているのを知っていますか。遊具更新なら良いが。外すのならば、ぜひ介護予防のための高齢者向きの遊具・リハビリ機器などの導入を検討してほしい。

<区役所の発言>

ご意見については緑公園緑地事務所へ伝えます。本日は、貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。